

1、現在時刻の設定

“時計”ボタンを押しながら“曜日”、“時”、“分”ボタンを押す、それぞれを設定します。図①参照

時計ボタンを押したままそれぞれのボタンを繰返し押すと、曜日または数字がひとつずつ進んでいきます。図②参照

曜日の設定: Mo(月)→Tu(火)→We(水)→Th(木)→Fr(金)→Sa(土)→Su(日)

時の設定: 0→1→2→3→4……22→23→0

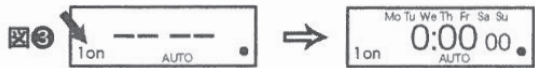
分の設定: 0→1→2→3→4……58→59→0

※秒を合わせるには、合わせる時刻のちょうど00秒の時に分を押します。



2、タイマープログラムのセット

①“プログラム”ボタンを1度押すと、画面左下に[1on]が表示され、使用する電気器具の電源を「ON(入)」にする時刻を設定します([1on]は1つ目のプログラムのON(入)時間のセットの意味)。図③参照



②“曜日”ボタンを押す、セットしたい曜日(または毎日)を決めます。

●ボタンを押す毎に次の順に変わります(画面の上部に表示)。

[Mo Tu We Th Fr Sa Su(毎日)]→[Mo(月)]→[Tu(火)]→[We(水)]→[Th(木)]→[Fr(金)]→[Sa(土)]→[Su(日)]

→[Mo Tu We Th Fr(月~金)]→[Sa Su(土 日)]→ [Mo Tu We Th Fr Sa(月~土)]

→[Mo We Fr(月 水 金)]→[Tu Th Sa(火 木 土)]→[Mo Tu We(月 火 水)]→[Th Fr Sa(木 金 土)]

セットしたい曜日で止めて、次に、時間設定に進みます。

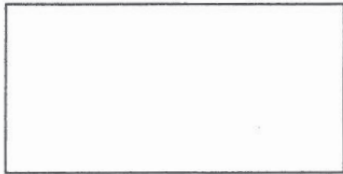
③“時”ボタンを押す、「ON(入)」したい時を設定します。

④“分”ボタンを押す、「ON(入)」したい分を設定します。

⑤再度“プログラム”ボタンを押すと、[1off]が表示され、電源を「OFF(切)」にする時刻を設定します(ONの時と同様に週・分を設定して下さい)

■注意:「OFF(切)」の設定をしないと、電源が入りっぱなしになります。

■ON(入)とOFF(切)の時刻が日をまたぐ場合は、OFFの曜日の設定にご注意ください(毎日の場合は除く)。例えば月水金の23時にスイッチをONして、0時過ぎにOFFにしたい時は、OFFの設定を火 木 土にして下さい。



⑥複数のプログラムのセット

必要に応じて、2つ目~8つ目のプログラムを同様にセットして下さい。

■注意: 同じ曜日で時間が重なると、「ON(入)/OFF(切)」共に早い時間が優先されます。複数のプログラムをセットする時は、ONとOFFの時間が重ならないようにご注意ください。

⑦プログラムの設定が終わりましたら、プログラム1~8までを全て確認し、使用しないプログラムの表示が、図④のようにになっているか確認して下さい。” 0 00”や、他の数字がある場合は誤動作の原因となりますので、クリアボタンを押して消して下さい。



3、モードの切替

本機は、常時ON/常時OFF/AUTO(自動)の、3つのモードがあります。※モードを切り替える時は、時計ボタンを押して現在時刻表示にしてから行います。

●“モード”ボタンを押す毎に(図⑤参照)次の順に切替わります。画面の下部に表示されます。

[ON]→[AUTO]→[OFF]→[AUTO]→[ON]→繰返し



画面表示が[ON]の時は電源が常時ONになり、[OFF]の時は常時OFFになります。タイマーとして使用する時は[AUTO]モードにします(通常はAUTOモードで使用します)。

■注意: 常時ONモードからAUTOモードに切替える時は、一度、常時OFFモードにしてからAUTOモードにして下さい(画面がON表示の時に、モードボタンを一度押すとAUTO表示に変わりますが、セットしたOFFの時間が来るまで、そのままON(入)の状態になります)。

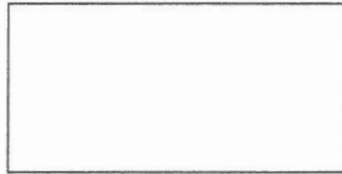
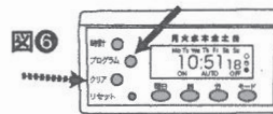
■今すぐに電源をON(入)にし、後でOFF(切)にしたい場合は、プログラムをセットしてから、一度、常時ONモードにし、その後AUTOモードにして下さい。

4、プログラムの消去・訂正

セットしたプログラムを消去したい時や、訂正したい時は次のようになります。“プログラム”ボタンを押す、消去・訂正したいプログラムを選択(画面に表示)させます。次に、“クリア”ボタンを一回押し、消去します。

※「ON(入)/OFF(切)」共に消去・訂正して下さい(どちらかが残っていると、思わぬ時にプログラムが実行される場合があります)。

図⑥参照



5、電気器具のセット

タイマーを壁面コンセントなどに差し込み、使用する電気器具を本機に差し込みます。

■注意! 延長コードをご使用の場合は、本機の容量(最大1500W)まで、及び、延長コードの使用容量を超えないようにご注意ください。

6、ランダム設定(防犯などに)

留守中に電気を灯けて在宅しているように見せることが、泥棒や空き巣などに非常に有効だと言われています。

本機には更に、設定した時間を毎日「2~32分」自動的にずらして、よりリアルに見せるランダム機能が搭載されています。

①電気を灯けたい時刻を前記【2、タイマープログラムのセット】にて予め設定します。

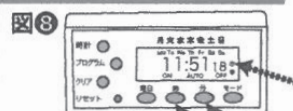
②現在時刻を表示している時に“曜日”ボタンと“時”ボタンを同時に押すと、画面の右端に[○]が表示されランダム機能がセットされます。もう一度押すと元に戻ります。図⑦参照



■注意! ランダム機能は「2~32分」の間で、ON(入)/OFF(切)の時刻が自動的に後ろにずれますので、設定する際にはONとOFFの間を必ず40分以上あけて下さい。それ以下ですと、ONとOFFの時刻が重なり、本機が動作しない場合があります。また、複数のプログラムで使用する場合にもONとOFFの間隔、及び各プログラムの間隔を40分以上あけて下さい。

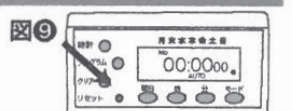
7、サマータイム対応

“時”と“分”ボタンを同時に押すと、画面右端に[☉]表示がでます。同時に現在時刻が1時間進み、サマータイム時間になります。もう一度押すと元に戻ります。図⑧参照



8、オールリセット

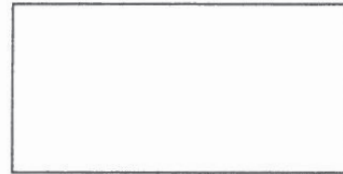
左下のリセットボタンを、ボールペン等の先の細いもので押すと、設定したプログラムと現在時刻が全てクリアされます。図⑨参照



9、収納時、長期間使用しない時の注意

本機には充電電池(ニッケル水素電池)が内蔵されています(交換不可)が、収納時や長期間使用しない時は、下記の点にご注意下さい。

●充電電池は残量がまったく無くなってしまうと再充電ができなくなってしまうので、収納する前に必ず24時間以上、本機をコンセントに差し込んでフル充電にしてから収納して下さい。フル充電すれば、約1年後(1年以内)の再充電が可能です。(液晶表示は約3ヶ月後に消えますが、残量が“ゼロ”にはなりませんので再充電は可能です)。



10、再使用時の注意

再使用の際は、本機をコンセントに15~20分差し込んで、充電して下さい。充電後、リセットボタンを押すと液晶が表示され、使用可能となります(1、の現在時刻の設定からはじめて下さい)。